

2024年4月5日改訂版

音楽サロン チャント

歌声サロン

歌詞・解説



NO.1



NO	曲目	年代
1	赤とんぼ	昭和2年
2	家路（遠き山に日は落ちて）	大正末期
3	かもめの水兵さん	昭和12年
4	鯉のぼり	昭和6年
5	高原列車は行く	昭和29年
6	背（せい）くらべ	大正12年
7	春が来た	明治43年
8	春の小川	大正元年
9	故郷（ふるさと）	大正3年
10	紅葉（もみじ）	明治44年
解説		
11	赤とんぼ	
12	家路（遠き山に日は落ちて）	
13	かもめの水兵さん	
14	鯉のぼり	
15	高原列車は行く	
16	背（せい）くらべ	
17	春が来た	
18	春の小川	
19	故郷（ふるさと）	
20	紅葉（もみじ）	

1 赤とんぼ



1927年(昭和2年)
作詞：三木 露風
作曲：山田 耕作

1. 夕焼け小焼けの赤とんぼ
負(お)われて見たのは いつの日か
2. 山の畑の 桑の実を
小かごに摘んだは まぼろしか

****間奏****
3. 十五でねえやは 嫁に行(ゆ)き
お里の 便りも 絶え果てた
4. 夕焼け小焼けの 赤とんぼ
とまっているよ 竿(さお)の先

2 家路(遠き山に日は落ちて)

大正末頃
作詞：堀内 敬三
作曲：アントニン・ドヴォルザーク



1. 遠き山に 日は落ちて
星は空を ちりほめぬ
きょうの業(わざ)を なし終えて
心軽(かる)く 安らえば
風は涼(すず)し この夕べ
いざや 楽しき まどいせん
まどいせん
2. やみに燃えし かがり火は
炎(ほのお)今は 鎮(しず)まりて
眠れ安(やす)く いこえよと
さそうごとく 消えゆけば
安(やす)き御手(みて)に 守られて
いざや 楽しき 夢を見ん
夢を見ん

3 かもめの水兵さん

1937年(昭和12年)
作詞：武内 俊子
作曲：河村 光陽



1. かもめの水兵さん
ならんだ水兵さん
白い帽子(ぼうし) 白いシャツ
白い服(ふく)
波にチャップ チャップ
うかんでる
2. かもめの水兵さん
かけあし水兵さん
白い帽子 白いシャツ 白い服
波をチャップ チャップ
越(こ)えてゆく
3. かもめの水兵さん
ずぶぬれ水兵さん
白い帽子 白いシャツ 白い服
波でチャップ チャップ
おせんたく
4. かもめの水兵さん
なかよし水兵さん
白い帽子 白いシャツ 白い服
波にチャップ チャップ
揺(ゆ)れている

4 鯉のぼり

1931年(昭和6年)
作詞：近藤 宮子
作曲：不詳



- 【3回繰返し】
やねより たかい
こいのぼり
おおきい まごいは
おとうさん
ちいさい ひごいは
こどもたち
おもしろそうに およいでる

5 高原列車は行(ゆ)く

1954年(昭和29年)
作詞：丘灯 至夫
作曲：古関 裕而
歌手：岡本 敦郎



1. 汽車の窓から ハンケチ振(ふ)れば
牧場(まきば)の乙女(おとめ)が
花束(はなたば) 投(な)げる
明るい青空 白樺林(しらかばばやし)
山越え谷越え はるばると
ラーララー ララ ララララ ラーラ
高原列車は ラララララ 行(ゆ)くよ
2. 緑の谷間(たにま)に
山百合(やまゆり)ゆれて
歌声響(ひび)くよ 観光バスよ
君らの泊(と)まりも
温泉(いでゆ)の宿(やど)か
山越え谷越え はるばると
ラーララー ララ ララララ ラーラ
高原列車はラララララ 行(ゆ)くよ
3. 峠(とうげ)を越えれば夢見るような
五色(ごしき)の 湖(みずうみ)
飛(と)び交(こ)う 小鳥(こどり)
汽笛(きてき)も二人の 幸せ歌う
山越え谷越え はるばると
ラーララー ララ ララララ ラーラ
高原列車はラララララ 行(ゆ)くよ

6 背(せい)くらべ

1923年(大正12年)
作詞：海野 厚
作曲：中山 晋平



1. 柱(はしら)のきずは おととしの
五月五日(いつか)の 背(せい)くらべ
粽(ちまき)たべたべ 兄(あに)さんが
計(はか)ってくれた 背(せい)のたけ
きのうくらべりゃ 何(なん)のこと
やっど羽織(はおり)の
紐(ひも)のたけ
2. 柱(はしら)に凭(もた)れりゃ すぐ見える
遠(とほ)いお山(やま)も 背(せい)くらべ
雲(うみ)の上(うへ)まで 顔(かほ)だして
てんでに背(せい)伸(のび) していても
雪(ゆき)の帽子(ぼうし)を めいでさえ
一(いち)はやっぱり 富士(ふじ)の山